



木津小だより

Challenge

令和5年度6月号

高岡市立木津小学校

令和5年6月21日

百聞は一見にしかず

教頭 釣谷 昌美

木津小学校では5月の下旬から各学年で校外学習を実施しています。昨年度までは感染症予防対策として、校外に出て行う学習には様々な制限がありました。しかし、今年度は学習内容に合わせて見学場所を選び、子供たちに体験的な学びによる、実感を伴った学習ができるように計画しています。各学年の内容を一部紹介いたします。

1・2年生は合同で富山市ファミリーパークへ行きました。前日から悪天候が心配されていましたが、家族と一緒に行くのとは異なり、みんなで大型バスに乗る経験や、カッパや傘をさして雨降りの中の動物園巡りは、子供たちにとってある意味思い出深いものとなりました。雨の日の動物たちの様子も見る事ができたことも、興味深かったようです。

3年生は、総合的な学習の時間の課題づくりに向けて、御車山会館を見学したり金屋町の石畳を歩いたりして、高岡市の「すてき」をたくさん発見してきました。

4年生は社会科で学習している上下水道の施設を見学してきました。蛇口を捻ると安心安全な水が出てくる仕組みについて、実際に見たり説明を聞いたりして理解を深めました。また、「10歳のファーストコンサート」では高岡文化ホールでオーケストラの演奏を堪能してきました。

このあと、月末にはエコクリーンセンターや埋め立て処分場の見学も予定されています。

6年生は城光寺陸上競技場で連合運動会に向けて、トレーニングをしました。数年ぶりに市内の6年生が一堂に会して行われた本番の日は、天候にも恵まれ、思いっきり練習の成果を発揮してきました。

ものづくり・デザイン科では、錫のプレートづくりの真最中。講師の先生に指導を受けて型をつくり、地場産センターで鋳込みを行うのを心待ちにしています。

5年生は月末に、富山市の「イタイイタイ病資料館」と「四季防災館」に行く予定です。きっと実際にあった公害問題について知ったり、防災について考えたりする契機となることでしょう。



6年生（錫のプレートづくり）



4年生（二上浄化センター見学）



1・2年生（富山市ファミリーパーク）

教室で教科書を使って学習することにプラスして、実際に見たり聞いたり体験したりすることは子供たちの心に驚きや感動と共に、内容が深く残り理解を確かなものにしてくれます。

ICTの活用が進み、子供たちも学習専用端末で検索すれば、画像や動画でどんなことも簡単に調べることができる時代になりました。しかし、百聞は一見にしかず。五感を使って行う学習のよさを実感しながら、これからも体験的な学習を大切にしていきたいと思えます。

運動会 5 / 13

天候にも恵まれ、本年度の運動会を無事終了することができました。PTAの方々には、当日朝早くから、テントの設営や側溝の泥上げ等の準備や終了後の片付けなど、ご協力いただき大変感謝しております。本当にありがとうございました。

運動会では、「進んで運動したり互いに協力したりしようとする態度を育てる」ことをねらいとして実施いたしました。どの子供も最後まであきらめず、全力で競技や係の仕事等に挑戦する姿が見られ、木津っ子一人ひとりのよさを感じることができました。



児童の感想文より

私は運動会で応援団長として、競技しているときも、みんなを勇気づけられるような応援をしたいと考えていました。予行練習では、私が応援すると、みんなが行動で返してくれているように感じられて、うれしくなりました。本番での応援合戦は、みんな団結して、いい応援を見せることができたと思いました。また、リレーの時には、ほかの団に負けない声で応援できたと思いました。

私は運動会の放送係として、聞きやすい声で話そうと心がけました。それは、大勢の前で話す経験がふだんないからです。運動会本番での私の声は、緊張でふるえていました。けれども、落ち着いてゆっくり話そ